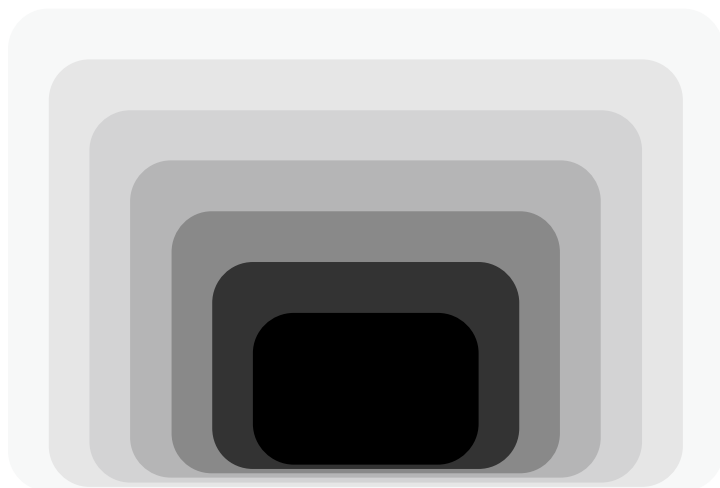


梱包機 SQ-800



取扱説明書

重要

本書に記載されている重要安全事項の部分は、本製品をご使用前によくお読みになり正しく安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでもお使いいただけるように大切に保管してください。
本書を追加ご希望の場合は、弊社の代理店または営業所にお問い合わせください。



目次

はじめに	1
標準付属品	1
安全上のご注意 《必ずお守りください》	2, 3
警告ラベル／各部の名称と役割	4
電源プラグについてのご注意	5
操作スイッチの説明	6
バンドコイルのセット、バンドの通し方／抜き方	7, 8
操作方法	8
制御ボックスパネルの説明	9
日頃のお手入れ	9
故障かな？と思ったら	10

はじめに

この度は、弊社製品をご採用いただきまして、誠にありがとうございます。

ご採用いただきました製品を効率良く活用していただくためには、日常のお手入れや取扱い方が本機の調子を左右いたしますので、本書をよくお読みになり、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

また、シーリングチェックカード(付属品)もよくお読みになり、正しく安全にお使いください。




標準付属品

取扱説明書(本書)	1 冊
保証書	1 通
シーリングチェックカード	1 枚
予備部品	1 式
付属工具	1 式

安全上のご注意 《必ずお守りください》


人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。

 危険	この表示の欄は、「死亡または重傷を負う危険(火災、感電事故など)が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負う危険(火災、感電事故など)が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

据付け時のご注意



- ◎ 電源コードは、人やフォークリフト等が踏むような場所を避けて配置してください。コードの被覆が破れて、感電の原因になります。
- ◎ 電源コードは、バンドやバンドコイルに接触するおそれがないように配置してください。走行するバンドや回転するバンドコイルにコードが接触すると、コードの被覆が破れて、感電の原因になります。破損した場合は、速やかに交換してください。
- ◎ 水や油のかかる場所に、置かないでください。内部の電装品に水や油がかかると、感電・漏電・故障の原因になります。
- ◎ 使用環境温度-10℃～+40℃の範囲に、設置してください。低温倉庫・急激な温度変化の起こる場所・気温が高い場所に、置かないでください。低温環境では、内部の電装品が氷結・結露し、感電・漏電・故障の原因となり、高温環境では、熱による故障の原因になります。
- ◎ 濡れた手で、電源プラグの差込み・引抜きをしないでください。感電やけがの原因になります。
- ◎ 設置するときは、必ず漏電ブレーカーに接続されたコンセントに電源プラグを差込んでください。
- ◎ 移動するとき以外は、接触事故防止のためキャスターのストッパーを必ずロックしてください。
- ◎ 移動するときは、必ず電源スイッチを『OFF』にして、電源プラグを抜いてください。
- ◎ 電源コードを引いて、移動しないでください。電源コード断線の原因になります。
- ◎ 移動するときは、押して移動してください。引いて移動すると足が底部に巻き込まれ、けがの原因になります。
- ◎ 本機を改造しないでください。改造すると誤作動を起こし、けがの原因になります。また、本機を破損させるおそれがあります。
- ◎  アースについて
本機をお使いになるときは、必ずアース線(緑色)を接続してください。
コンセントにアース端子がないときは、接地工事が必要です。アース棒を地中に埋め込み、アース線を接続する電気工事は資格が必要です。最寄の電気工事店(有料)にご相談ください。
●アース線は、ガス管・水道管・電話・避雷針のアース線には絶対に接続しないでください。



- ◎ 電源コードは、所定のコードをお使いください。
- ◎ 移動するときは、電源プラグを抜いて電源コードをまとめておいてください。
- ◎ 移動する路面に段差・溝等があるときは、本機を持ち上げて通過してください。

使用上のご注意



- ◎ 作動中は、上面のテーブル・安全カバー・パネル類を絶対に開けないでください。機械駆動部に触れると、けがの原因になります。
- ◎ 作動中は本機の底部から内側へ手を入れないでください。
- ◎ 内部の部品に触れると、感電・けが・火傷の原因になります。



- ◎ 本機は、品物を梱包する以外の目的で使用しないでください。
- ◎ バンド接着部のヒーターは、電源スイッチを『OFF』にしても、しばらく熱が残りますので、冷めるまで触れないでください。
- ◎ 作動中はアーチ内に手、頭等からだの一部を絶対に入れないでください。アーチ内はバンドが高速で走行しているのでバンドに触れると、けがの原因になります。
- ◎ バンドまたは回転するバンドコイルを手で持って、あるいはそれらにからだや衣服が触れている状態で、操作パネルのスイッチを操作しないでください。バンドが高速で走行しているので、けがや火傷の原因になります。
- ◎ 梱包したバンドを持って、品物を運んだり強く引張らないでください。バンドが切れたりゆるみが生じ、品物が落下して、破損やけがの原因になります。
- ◎ 作動中は、接着部に手を触れないでください。火傷や機械に挟まれて、けがの原因になります。
- ◎ バンドで手を切ることがあります。バンドの取扱いには注意してください。
- ◎ 修理・点検・掃除のときは、必ず電源スイッチを『OFF』にして、電源プラグを抜いてください。
- ◎ 修理・調整は、本機を十分に理解した人が、おこなってください。
- ◎ 本機を改造しないでください。改造すると誤作動を起こし、けがの原因になります。また、本機を破損させるおそれがあります。



- ◎ 付属品のシーリングチェックカードを良くお読みになり、ご使用前に必ず点検をおこなってください。
- ◎ 作動中は作動音が発生しますので、使用者は耳栓をお使いください。
- ◎ 使用後は、必ず停止ボタンをロックし、電源スイッチを『OFF』にして、電源プラグを抜いてシーリングユニットに付いているバンド屑や粉等を、きれいに掃除してください。
- ◎ 落雷のおそれがある時は、使用を中止し必ず電源スイッチを『OFF』にして、電源プラグを抜いてください。落雷があると内部のICを損傷させる原因になります。
- ◎ 本機に品物を置くときは、落下等の大きな衝撃を与えないでください。
- ◎ 本書に記載のない作業方法・材料・工具等を、用いないでください。

警告ラベル／各部の名称と役割

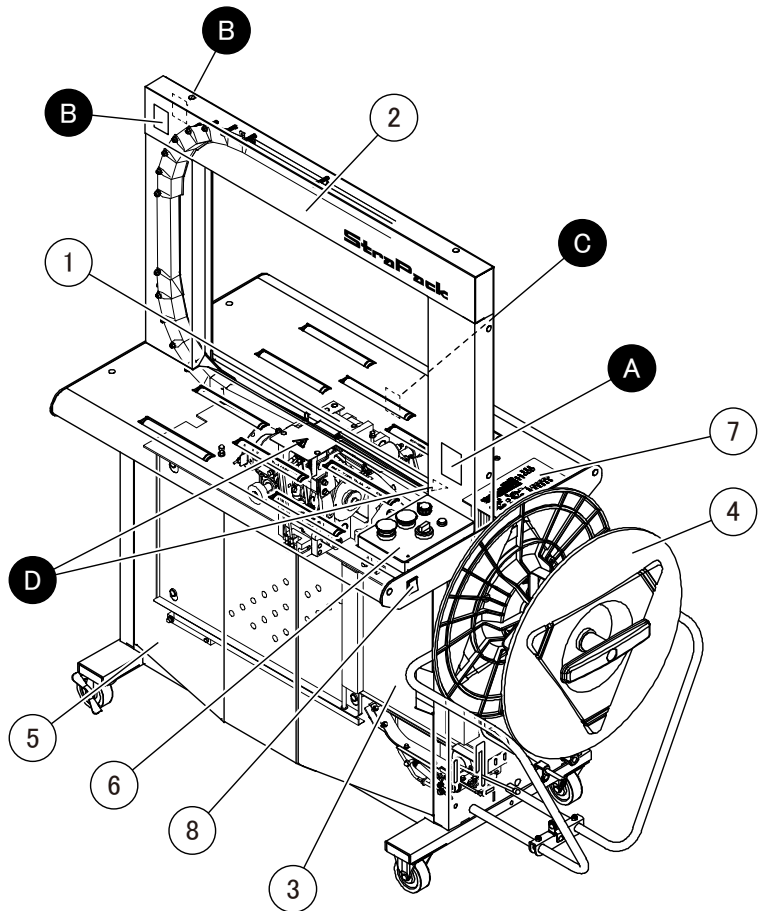
警告ラベル

警告ラベルの配置およびそれらの示す危険の内容を以下に説明します。

警告ラベルをよくお読みになり安全のために必ずお守りください。

警告ラベルが取れてしまったり、損傷したり、読めなくなったときは、新しい警告ラベルを同じ位置に貼付けてください。

各警告ラベルのご注文は、最寄の代理店または弊社営業所にお問い合わせください。



<p>A</p>	<p>一般的警告(危険注意) 本書を、よくお読みになり理解してください。 修理・調節時は電源スイッチを『OFF』にして、電源プラグを抜いてください。警告マークの指示は必ず守ってください。</p>	<p>B</p>	<p>アーチについての警告(アーチ警告) アーチ内に手や頭などを近づけないでください。走行するバンドに接触し、けがをする危険性があります。</p>
<p>C</p>	<p>電装部についての警告(感電危険) 修理・調節のときは必ず電源スイッチを『OFF』にして、電源プラグを抜いてください。電源スイッチが『ON』で制御ボックス、各トランスに手を触れると感電の原因になります。また、被覆が破損した電源コードに身体が接触すると、感電の原因になります。</p>	<p>D</p>	<p>高温部についての警告(高温警告) 高温部に手を触れると火傷をします。電源スイッチを『OFF』にして高温部が冷えるまでしばらく時間が必要です。</p>

各部の名称と役割

- ① シーリングユニット …………… バンドをアーチ内に送り、引戻し締付けて、切断及び接着を行う装置です。
- ② アーチユニット …………… バンドを装填して、結束時にバンドを放つ装置です。
- ③ プールユニット …………… バンドをためておくバンド自動供給装置です。
- ④ リールユニット …………… バンドコイルを保持して、回転慣性を自動制御する装置です。
- ⑤ ボディユニット …………… 機械を支える骨組、外板などから構成されています。
- ⑥ 電装グループ …………… 操作ボタン・スイッチ等の電装部です。
- ⑦ 制御盤グループ …………… IC制御ボックスです。
- ⑧ 電源スイッチ …………… 主電源スイッチです。『ON』にすると機械に電気が供給されます。

電源プラグについてのご注意

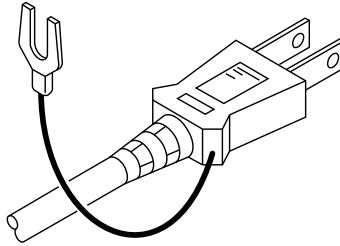
警告

電源プラグのアースは、必ず接続してください。

- 機械の据付け場所を移動して電源のコンセントが変わるとき、バンド通しを行う前に次の事項を確認してください。

プラグから出ているアース線(緑色)をコンセントのアース端子に接続してお使いください。

アース線(緑)



操作スイッチの説明

① 電源表示ランプ(POWER)

電源スイッチを『ON』にすると始めはゆっくり点滅します。この間は「起動ボタン」③を押しても機械は作動しません。ヒーター温度が上昇して梱包が可能になると点滅から点灯に変わり(約25秒後)、運転準備完了です。

はやい点滅……………モーターの過負荷や断線、シーリングが3秒回り続けた場合。「停止ボタン」④を押してエラーの原因を取り除いてください。

おそい点滅……………リールユニットにセットされたバンドがなくなりモーターが停止します。プールボックスに残ったバンドを取除いて新しいバンドコイルをセットしてください。

② 引締め調節ダイヤル(TENSION)

品物を締付ける力を、設定します。品物の種類・大きさにより、適度に調節してください。

③ 起動ボタン(START)

梱包作業のスタートスイッチです。普段はこのボタンを押すだけです。

④ 停止ボタン(STOP)

このボタンを押すと1工程の途中でも直ちに停止します。起動できる状態に復帰するには、停止を解除し、「起動ボタン」③を押してください。停止を解除するときは、右(時計回り)にひねってください。

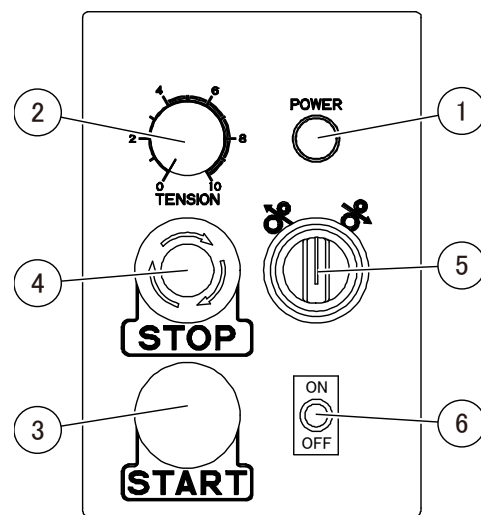
⑤ 正逆スイッチ(⌚ ⌚)

左(反時計回り)にひねる……………バンドをアーチユニットに送り出します

右(時計回り)にひねる……………バンドをアーチユニットから引き戻します

⑥ ボールスイッチ『ON-OFF』スイッチ(オプション)

ボールスイッチの『ON』・『OFF』切替スイッチです。



ボールスイッチ／フットスイッチ(オプション)の使用法

⚠ 警告

ボールスイッチを使用しない場合は、「ボールスイッチ『ON-OFF』スイッチ」⑥を必ず『OFF』にしてください。

⚠ 警告

ボールスイッチ／フットスイッチを押すと、本機が作動しバンドが掛かります。

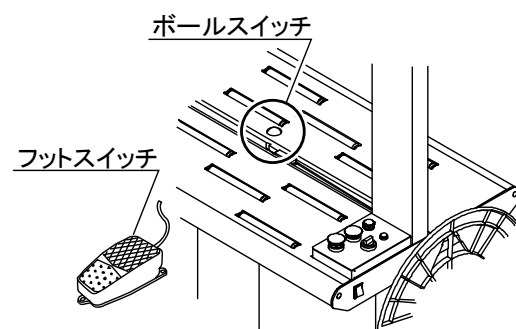
上面テーブルに品物を載せる場合、ボールスイッチを誤って押さないように注意して載せてください。

また、フットスイッチも誤って踏まないように注意してください。

作業中にボールスイッチ／フットスイッチを誤って押すと、頭や手にバンドが掛かってしまい、けがの原因になります。

- オプションでボールスイッチ付の場合は、操作パネルにボールスイッチ『ON-OFF』スイッチが追加になります。使用するときは、このスイッチを『ON』にして、テーブル中央部のボールスイッチが品物で押されると、品物にバンドが掛かります。但し、停止スイッチを押してロックした状態では、ボールスイッチは使用出来ません。

- オプションでフットスイッチ付の場合、フットスイッチは起動ボタンと同様の機能でフットスイッチを踏むと、品物にバンドが掛かります。但し、停止スイッチを押してロックした状態では、フットスイッチは使用出来ません。

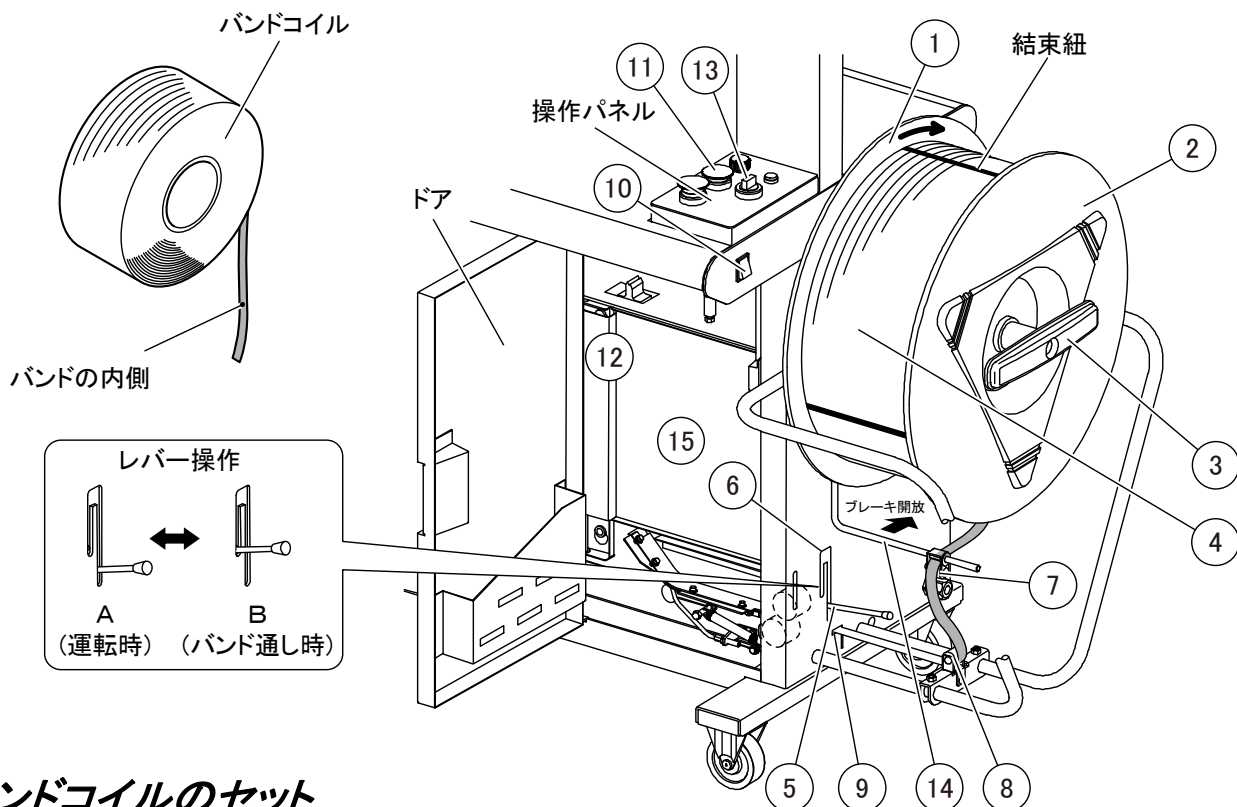


⚠ 注意

バンドの種類・幅が機械仕様と一致していることを確認してください。

⚠ 警告

「バンドコイル」④をセットするとき、バンドを通すとき、また抜くときは、必ず操作パネルの「停止ボタン」⑪を押して、「電源スイッチ」⑩を『OFF』にしてください。



バンドコイルのセット

- 「バンドコイル」④は結束紐(バンド)で結束したままの状態です。
1. 「バンドコイル」④の先端を右巻き(時計回り)にして、「リールインサーキュラー」①と「リールアウトサーキュラー」②の間にはさみ、「リールナットハンドル」③で右(時計回り)に締付けてください。
 2. 結束紐(バンド)を切ります。

バンドの通し方/抜き方

⚠ 注意

長時間梱包作業を行わない場合は、必ず「プールのボックス」⑫からバンドを全部抜き取ってください。

バンドの通し方

1. 「レバー」⑤を「ガイド溝」⑥に沿わせて持ち上げ、AからBへ移動します。この操作により「プールのボックス」⑫内にバンドの通路が形成されバンド自動装填の準備が整います。
「リールブレーキアーム」⑭を図中の矢印方向に少し押しながら(ブレーキが開放されます)、バンドの先端をつまんで「ローラー」⑦に接して通したあと、バンドコイルの内側が下向きになるよう90°ひねり、「ローラー」⑧に通し、入口の「角穴」⑨に約15~20cm送込んでください。

- この時バンドを多く(30cm以上)送込んだり、逆に少なかったり(10cm以下)すると、バンド自動装填の作動不良の原因になりますので注意してください。
- 2. 「レバー」⑤をBからAへ戻し、「電源スイッチ」⑩を『ON』にしてください。
- 3. 「停止ボタン」⑪を右(時計回り)に回してロックを解除してください。モーターが回り「プールボックス」⑫内にバンドが引込まれ、プールボックス内に形成された通路を通ったあと、アーチユニット内に自動的に装填されて所定の位置に到達します。
これでバンド通しの完了です。

バンドの抜き方

1. 「正逆スイッチ」⑬を、アーチユニット内からバンドがなくなるまで右(時計回り)にひねってください。
2. 「停止ボタン」⑪を押してロックしたあと、電源スイッチ⑩を『OFF』にしてください。
3. 「レバー」⑤を「ガイド溝」⑥に沿って持上げ、AからBへ移動してください。
4. リール部(①・②・③)を手で左(反時計回り)に回転させて、機械内部からバンドがなくなるまで回しつづけてください。

バンド終了時のバンドの抜き方

1. 「停止ボタン」⑪を押したあと、「電源スイッチ」⑩を『OFF』にしてください。
2. ドアと「プールドア」⑮を開けて機内に残っているバンドを、取りのぞいてください。
3. 「プールドア」⑮とドアを、閉めてください。

操作方法



警告

長時間梱包作業を行わない場合は「停止ボタン」⑪を押してください。

- 『操作スイッチの説明』のページも参照してください。
- 1. 「電源スイッチ」⑩を、『ON』にしてください。
電源表示ランプが、点滅から点灯に変わるまで(約25秒)お待ちください。
- 2. 電源表示ランプが点灯したあと、梱包する品物をテーブルの中央部に置き、引締め調節ダイヤルで適度な引締め量に設定してください。品物を傷つけないよう、最初は弱めに設定して、一度梱包してから適度に設定してください。
- 3. 「停止ボタン」⑪を右(時計回り)にひねってロックを解除して、起動ボタンを押してください。
バンドが品物に巻きつきます。
- 4. 梱包作業が終わりましたら、「停止ボタン」⑪を押してください。

制御ボックスパネルの説明

⚠ 注意

各調整ボリュームは工場出荷時調節済みですので、むやみに調節しないでください。
調節不良によるトラブルの原因になりますので十分ご注意ください。

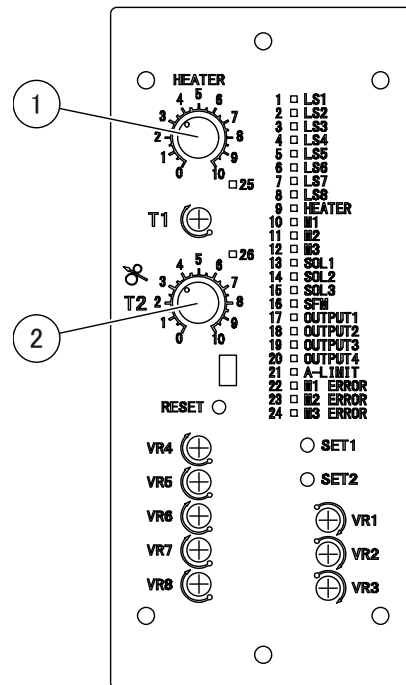
① HEATER(ヒーター温度調節)

ヒーター温度は出荷時に調節していますが、気候・地域・設置場所等で変わります。シーリングチェックカードを参照して接着状態を確認し適度なヒーター温度に調節してください。

- ・ 温度を高くする…………… 右に回す(時計回り)
- ・ 温度を低くする…………… 左に回す(反時計回り)

② T2(正転タイマー)

バンドを送り出す時間を調節するタイマーです。連続運転した場合バンドが戻ってしまう時は、少し右に回します。ただし、バンド送りの強さが弱い場合、バンドの曲がりくせ、先端部の割れによる抵抗もバンド戻りの原因となりますので原因を追求の上、適切な調整が必要です。



日頃のお手入れ

⚠ 警告

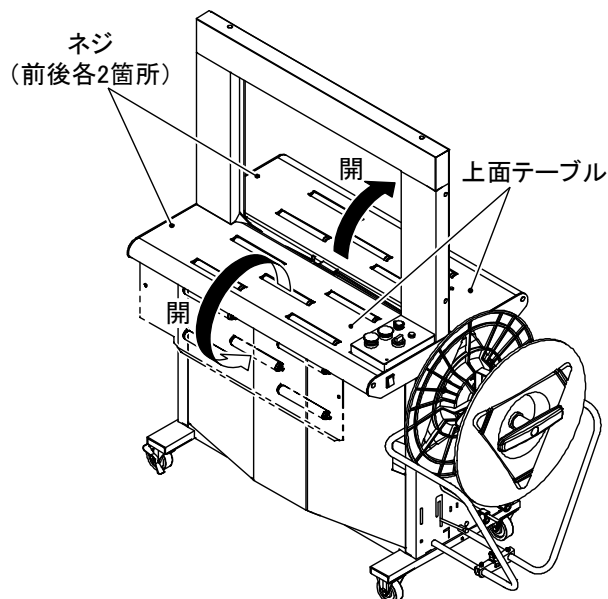
掃除をするときは必ず停止ボタンを押してロックし、電源スイッチを『OFF』にして電源プラグを抜いてください。
また、接着部(ヒーター)は高温です。電源スイッチを『OFF』にして十分冷えたことを確認してから、上面テーブルを開けて、接着部(ヒーター)まわりの作業をしてください。

⚠ 注意

上面テーブルを開けるときは、上面テーブルが完全に開ききってから手を離してください。

- バンド屑や粉等が残っていると、接着不良や機械の故障の原因になるので、作業終了後は掃除をしてください。

上面テーブルを固定しているネジを取外し上面テーブルを開け、シーリングユニット付近に付いているバンド屑や粉等を雑巾などできれいに取払ってください。



故障かな?と思ったら



警告

調節・調整の際は、必ず電源スイッチを『OFF』にして、電源プラグを抜いてください。

- 万一、トラブルが発生しましたら以下の項目をご検討ください。それでも故障が直らないときは、本機ご購入の代理店または弊社アフターサービス係までご連絡ください。

現象	原因	対策
起動ボタンを押しても機械が作動しない。	<ul style="list-style-type: none"> ・電気が流れていない。 ・ヒューズの切断や外れ。 ・停止ボタンがロックされたまま。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電源点検。電源ケーブルの点検。 ・ブレーカーの確認。 ・点検・交換。 ・停止ボタンの解除。
バンドを通し、停止ボタンをロック解除しても、バンドが機械内に取り込まれない。	<ul style="list-style-type: none"> ・タッチレバー位置がバンド通し側にある。 ・バンドの先端がバンドを取り込むローラーまで届いていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・『バンドの通し方／抜き方』のページを参照してください。
バンドが品物に巻きつかず、バンドが戻ってしまう。	<ul style="list-style-type: none"> ・T2タイマー（正転タイマー）のセット時間が短い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・T2タイマーを少し右（時計回り）に回してバンドの送り時間を長めにセットし、何度か梱包を繰り返しながら調節してください。（T2タイマーの回し過ぎに注意してください。アーチ内からバンドが飛出す場合があります。）
接着しない、又は接着力が弱い。	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒーター温度設定の不適正。 ・梱包する品物に対して引締め力が強すぎる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・シーリングチェックカードを参照しながらヒーター温度調節ダイヤルにて何度か梱包を繰り返しながら調節してください。 ・サーキットプロテクターの確認。 ・シーリングチェックカードを参照しながら引締め調節ダイヤルを少し左（反時計回り）に回して弱くします。何度か梱包を繰り返しながら調節してください。

保証／保険／アフターサービス

● 保証書について

所定の検査に合格したストラパック梱包機をお届けいたしました。万一の事を考え次のとおり保証いたします。

(1)保証期間はご購入の日から1年間といたします。

(2)保証期間内の修理は無償でさせていただきますが、特別な場合は保証規定にもとづき有償となります。

保証書を熟読されたうえ大切に保管し、修理の時にご提示ください。保証書は、このたびご購入いただきました製品が万一故障した場合に、保証期間内無料サービスのために必要です。

● ストラパック《火災・盗難ご安心保険》について

《火災・盗難ご安心保険》御申込書は必要事項をご記入のうえ、ピンク色の御申込書のみをご返送ください。御購入後1年のうちに、火災・盗難等にあわれた場合、無償にて修理または交換させていただきます。御申込みのない場合には保険の加入、保証登録が来ず無効となりますのでご注意ください。

● アフターサービスを依頼される時

アフターサービスは、本機をお買い上げいただきました代理店に本機の「購入年月日」「機種」「機械番号」および故障状態を詳しくご連絡のうえ、お申しつけください。

ストラパック株式会社

<http://www.strapack.co.jp/>

・本社	〒104-0061	東京都中央区銀座 7-16-14 銀座イーストビル 5F	TEL.03-6278-1801	FAX.03-6278-1800
・営業企画室	〒115-0051	東京都北区浮間 3-14-4	TEL.03-3965-5211	FAX.03-3965-4913
・札幌支店	〒060-0041	札幌市中央区大通り東 9-1 みきビル	TEL.011-241-6335	FAX.011-222-3728
・旭川 SSP	〒078-8220	旭川市十条通 22-1-12	TEL.0166-34-9597	FAX.0166-34-9534
・仙台支店	〒984-0001	仙台市若林区鶴代町 2-11	TEL.022-232-7459	FAX.022-231-0779
・酒田 SSP	〒998-0864	山形県酒田市新橋 5-12-20	TEL.023-423-3512	FAX.023-423-3583
・郡山営業所	〒963-8052	福島県郡山市八山田 4-125	TEL.024-938-7210	FAX.024-932-2977
・盛岡 SSP	〒020-0117	岩手県盛岡市緑ヶ丘 3-4-33 ベルデローマ 102 号	TEL.019-601-9531	FAX.019-601-9557
・東京支店	〒115-0051	東京都北区浮間 3-14-4	TEL.03-3965-6181	FAX.03-3558-0240
・筑波 SSP	〒315-0125	茨城県石岡市山崎 1028-2	TEL.0299-46-4551	FAX.0299-46-4553
・東京東支店	〒279-0002	千葉県浦安市北栄 3-34-19	TEL.047-353-6868	FAX.047-353-6880
・東京西支店	〒221-0864	横浜市神奈川区菅田町 2800	TEL.045-475-7260	FAX.045-475-2260
・甲府 SSP	〒400-0857	山梨県甲府市幸町 13-21	TEL.055-232-6405	FAX.055-232-6404
・高崎支店	〒370-0801	群馬県高崎市上並榎町 113-1	TEL.027-370-2181	FAX.027-370-2026
・名古屋支店	〒463-0032	名古屋市守山区白山 1-1003	TEL.052-769-0251	FAX.052-769-0261
・北陸 SSP	〒921-8015	石川県金沢市東力 4-97-10	TEL.076-292-6027	FAX.076-292-0247
・静岡営業所	〒425-0071	静岡県焼津市三ヶ名 382-1	TEL.054-628-1315	FAX.054-628-2025
・大阪支店	〒555-0001	大阪市西淀川区佃 5-5-2	TEL.06-6473-7241	FAX.06-6473-7236
・岡山営業所	〒700-0975	岡山市北区今 8-13-17	TEL.086-244-4112	FAX.086-243-3470
・高松支店	〒762-0024	香川県坂出市府中町 5573-6	TEL.0877-48-2114	FAX.0877-48-2142
・広島支店	〒734-0023	広島市南区東雲本町 2-10-28	TEL.082-282-3011	FAX.082-283-9210
・福岡支店	〒818-0131	福岡県太宰府市水城 3-12-34	TEL.092-921-3400	FAX.092-925-2332
・鹿児島営業所	〒890-0003	鹿児島市伊敷町 4743-3 小島ビル	TEL.099-228-7611	FAX.099-228-7600
・沖縄 SSP	〒901-2126	沖縄県浦添市宮城 3-10-1 SK ニューコーポ B102	TEL.098-879-4515	FAX.098-879-4515

代理店

- 取扱説明書の内容には万全を期していますが、万一不明な点、誤り、記載もれ等ございましたら、お問合せください。
- 取扱説明書の内容は、予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 所在地は、予告なく変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。